JSPCCS
Japanese Society of Pediatric Cardiology and Cardiac Surgery

NEWS LETTER

No. 2
2022
2022年7月1日発行

TABLE OF CONTENTS

第58回日本小児循環器学会総会・学術集会
第58回学術集会ポスター …… 1
第58回学術集会会長挨拶　土井庄三郎先生 …… 2
招聘講演・教育講演演者一覧 …… 3
タイムテーブル …… 4
電子抄録のご案内 …… 10
2022年学会賞受賞者一覧 …… 12
日本小児循環器学会第19回教育セミナーBasic Course開催案内 …… 13
日本小児循環器学会第14回教育セミナーAdvanced Course開催案内 …… 13
日本小児循環器学会雑誌　第38巻第1号 …… 13
学会予定・分科会予定 …… 16
編集後記 …… 16

第58回日本小児循環器学会総会・学術集会開催に向けて

第58回日本小児循環器学会総会・学術集会
会長　土井　庄三郎
国立病院機構災害医療センター 院長・東京医科歯科大学 客員教授

学会員の皆さん、こんにちは。7月21日～23日に札幌コンベンションセンターで開催される第58回日本小児循環器学会総会・学術集会まで、残すところわずかとなりました。未曾有のCOVID-19 pandemicの影響で、前回、前々回はハイブリッド開催となりましたが、感染症の収束状況を鑑み、今回は現地開催を基本とすることと決定いたしました。久方ぶりの現地開催となりますので、遠方の先生方にも仲間との再会を楽しみにしていただき、積極的に参加登録していただきたく存じます。これまでにも学術集会に関する種々の情報を、News Letter、会員メールや学術集会ホームページ等でお伝えして参りましたが、直前に発刊予定のNews Letterの場を借りて追加情報をお伝えしたいと思います。

会場の札幌コンベンションセンターの最寄り駅は、地下鉄東西線の東札幌駅になります。JR札幌駅から会場までバスで約20分、車で約15分です。学術集会会期中は、JR札幌駅、札幌グランドホテルと会場間を巡回するシャトルバスを御利用いただけますので、詳細はホームページを御確認下さい。コンベンションセンター内には7つの口演会場と1つのポスター会場、計8会場が設営される予定です。第1会場のみ、海外招請者のライブ登壇も可能な会場とします。学術集会最終日午後に予定している市民公開講座「学んで救えるこどものいのち～医療と教育の連携～」は、PH Japan Projectの継承企画です。第1会場でハイブリッド開催しますので、学会員の先生方にも数多く御参加頂きたく存じます。

第58回学術集会のテーマは、

「こころを紡いで、いのちを繋ぐ～Let's discuss and co-operate for children's heart～」

とし、多領域の先生方も含め学会員同士がこどもたちの心疾患について、心を通わせながら討論する場を提供したいと考えています。プログラムのスケジュールはタイトであり、討論を重視するために口演の発表時間は厳守していただくようお願いします。またポスター発表はポスターディスカッション形式を取り入れました。詳細はホームページなどを参照いただきたく存じますが、御自分の発表だけで無く同一グループ他演者の発表内容にも十分目を通していただくことで、相互討論を盛り上げて頂きたく存じます。会長要望「患者目線の医療とは」、学会企画「先天性心疾患の児童・青年を多職種でいかに支えるのか」、委員会企画「先天性心疾患患者の緩和医療」「心臓移植を題材とした学校教育との連携」など、“こころを紡いで”討論できることを楽しみにしています。

現在、本学会が抱えている問題は多く、「小児心臓血管外科医の次世代育成」「医師の働き方改革」「専門医制度」「男女協働参画」「英文雑誌編集」や「国際化」などなど、挙げれば枚挙にいとまはありません。このような諸問題を一つずつ丁寧に解決していくためには、会員間の懇親と協調は不可欠です。コロナ禍は未だに終息してはおりませんが、学会員が懇親の場として集う懇親会を、会食と懇親のための時間と場所を考慮する形式で開催を計画しています。会長賞の表彰も懇親会で行われます。会食の時間帯には映像を楽しんで頂く準備を鋭意進めており、会食後に懇親を大いに楽しんでいただき、三々五々の解散にて更に懇親を深めて頂ければ幸いです。

札幌の地で数多くの先生方と再会できることを、心より楽しみにしております。学術集会準備のラストスパートに精一杯取り組んで参ります。皆さんの御協力無くして盛会はあり得ませんので、1人でも多くの皆さんに御参加頂き御支援頂きますよう、心よりお願い申し上げます。

招聘講演・教育講演演者一覧（敬称略）

第1日目：7月21日(木)

10:40 ～ 11:30
中川俊一（コロンビア大学　成人緩和ケア科）
心不全における緩和医療について
学術集会特別企画　第1会場

14:55 ～ 16:25
Shakeel Qureshi（Department of Paediatric Cardiology, Evelina London Children's Hospital, London, UK）
Catheter treatment of native RVOT

Ruth Heying（Pediatric Cardiology, UZ Leuven, Belgium）
Infective endocarditis after percutaneous revalvulation of the right ventricular outflow tract and its possible prevention
JSPCCS-AEPC Joint Session in Sapporo 2022　第1会場

16:30 ～ 17:20
高田正雄（Imperial College London/Chelsea and Westminster Hospital）
My translational research journey: ARDSのメカニズムと治療ターゲットを追って
メンターレクチャー　第1会場

第2日目：7月22日(金)

8:30 ～ 9:20
Jason X.-J. Yuan（Department of Medicine, University of California, San Diego）
Lung Vascular Pathophysiology and Pulmonary Hypertension: Role of Piezo1 and TRPV2
招請講演1　第1会場

9:25 ～ 10:55
Anita J. Moon-Grady（Division of Cardiology, Department of Pediatrics, University of California San Francisco）
Advances in the Diagnosis and Management of Congenital Heart Block

Kara S. Motonaga（Pediatric Cardiology, Stanford University）
Management of Complex Arrhythmias in ACHD
JSPCCS-AHA Joint Session　第1会場

11:00 ～ 11:50
平岡昌和（東京医科歯科大学　難治疾患研究所　循環器病部門）
不整脈の解明を目指して
レジェンドレクチャー　第1会場

特別講演

7月22日(金)　14:10 ～ 15:30
智内威雄
左手のピアニスト智内威雄講演会 ～心に響く命の音～
特別講演　第6会場
（第1会場にて中継）

第3日目：7月23日(土)

8:30 ～ 9:20
Ayako Makino（Division of Endocrinology and Metabolism, Department of Medicine, University of California, San Diego）
Coronary Microvascular Disease in Diabetes: Role of HuR-Cx40-EDH Axis
招請講演2　第1会場

11:00 ～ 11:40
Shuenn-Nan Chiu（Pediatrics, National Taiwan University Hospital）
Neurodevelopment outcome of children with congenital heart disease
JSPCCS-TSPC Joint Session　第1会場

12:50 ～ 13:40
Stejara A. Netea（Department of Pediatric Cardiology / Department of Pediatric Immunology, Amsterdam UMC, Location AMC）
Kawasaki disease and the current SARS-CoV-2 pandemic: rare lessons from a cohort of more than 1000 Kawasaki patients in The Netherlands

Thomas Salaets（Division of Pediatric Cardiology, University Hospitals Leuven）
Embolization of hepato-duodenal lymphatic fistulae as treatment for protein losing enteropathy after Fontan

Clement Batteux（Pediatric and Congenital Heart Diseases Department, Hôpital Marie Lannelongue）
Transcatheter Correction of Sinus Venosus Defect: From Bench Testing to Clinical Success
AEPC-YIA Session　第1会場

教育講演

7月21日(木)　8:40 ～ 9:30
脇本博子（ハーバードメディカルスクール　遺伝学講座）
肥大型心筋症の発症機序解明と戦略的治療法の開発
教育講演1　第1会場

7月21日(木)　14:00 ～ 14:50
笹野哲郎（東京医科歯科大学　循環制御内科学）
今からでもできる！　トランスレーショナルリサーチ
教育講演2　第1会場

1日目：7月21日（木）

9:00　10:00　11:00　12:00　13:00

第1会場 <オンライン登壇あり>	1F	特別会議場	開会式（I-OC）8:30～8:40 教育講演1（I-EL01）8:40-9:30 宮田賞受賞講演（I-MPL）9:40-10:30 学術集会特別企画（I-ACHD）ACHD・心不全の緩和医療 10:40-11:30 ランチョンセミナー1（I-LS01）共催:ヤンセンファーマ(株) 12:00-12:50 会長講演（I-PL）小児循環器医師としての40年 ー肺高血圧とともに 13:00-13:50
第2会場	1F	大ホールA	シンポジウム1（I-SY01）脳卒中循環器病対策基本法後の地域の循環器病患者支援 8:40-9:40 パネルディスカッション1（I-PD01）最新の遺伝性不整脈の臨床 9:50-11:20 ランチョンセミナー2（I-LS02）共催:ヴィアトリス製薬(株) 12:00-12:50
第3会場	1F	大ホールC	シンポジウム3（I-SY03）働き方改革セッション 医師の働き方改革 2024年問題に向けて 8:40-9:40 シンポジウム4（I-SY04）移行医療委員会 先天性心疾患患者の緩和医療 ～善く生きるために何が出来るのか～ 9:50-11:50 ランチョンセミナー3（I-LS03）共催:ボストン・サイエンティフィックジャパン(株) 12:00-12:50
第4会場	1F	中ホール	会長要望セッション1（I-YB01）シンポジウム（自律神経）小児循環器科医の立場から POTS(Postural Orthostatic tachycardia Syndrome)を考える 8:40-10:10 会長要望セッション2（I-YB02）パネルディスカッション（肺高血圧）多剤併用療法抵抗性の重症肺高血圧に対する Reversed Potts shuntの将来性 10:20-11:50 ランチョンセミナー4（I-LS04）共催:ニプロ（株） 12:00-12:50
第5会場	1F	中ホール	会長要望セッション3（I-YB03）シンポジウム 肺血流調整（外科治療、内科治療）Blalock-Taussigシャントと動脈管ステントの将来 8:40-10:10 会長要望セッション4（I-YB04）シンポジウム（集中治療）AIは集中治療・循環器診療にどこまで応用できるか？ ～AIについて学ぼう～ 10:20-11:50 ノンランチョンセミナー 蘇生科学教育委員会企画（I-NLS）みんなでPUSH 12:00-12:50
第6会場	2F	小ホール	一般口演2（I-OR02）染色体異常 8:40-9:30 一般口演3（I-OR03）一般心臓病学 9:40-10:30 一般口演4（I-OR04）カテーテル治療Ⅰ 10:40-11:30
第7会場	2F	204	一般口演8（I-OR08）カテーテル治療II 8:40-9:30 一般口演9（I-OR09）心臓血管機能 9:40-10:30 第13回小児用補助人工心臓研修セミナー（I-EPS01）第1部【座学】(株)カルディオ/ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) 10:50-12:50
ポスター会場	1F	大ホールB	ポスター貼付 8:40-10:00 ポスター閲覧 10:00-14:00

※最新の情報は電子抄録をご覧ください。

14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00 20:00 21:00

教育講演２
（I-EL02）
14:00-14:50

JSPCCS-AEPC
Joint Session
（I-AEPCJS）
14:55-16:25

メンターレクチャー
（I-ML）
16:30-17:20

医療安全講習会
（I-MSS）
医療安全最前線
～守りの美学
17:40-18:40

第36回不整脈勉強会（I-HRS）
19:00-21:00

パネルディスカッション２
（I-PD02）
HBD for Children委員会
提案企画
13:50-14:50

パネルディスカッション３
（I-PD03）
移行期医療
14:55-15:55

シンポジウム2（I-SY02）
胎児心エコー検査ガイドライン改定
を今後の診療に活かすために
16:00-17:30

第3回CHSS Japan（I-CSHH）
手術手技研究会
19:00-20:30

シンポジウム５（I-SY05）
14:00-15:30
学校心臓検診のさらなる発展のために

シンポジウム６（I-SY06）
小児期発症の特発性及び
遺伝性肺動脈性肺高血圧症の
長期生存例に対するトータルケア
15:40-17:10

第25回日本小児心血管分子医学研究会
（I-PCM）
18:45-20:45

一般口演１
（I-OR01）
胎児心臓病学
14:00-14:50

アート＆
サイエンス
レクチャー
（I-ARSC）
14:50-15:30

スポンサードシンポジウム（I-SSY01）
第25回川崎病治療懇話会
共催:日本血液製剤機構
15:40-17:40

シンポジウム７（I-SY07）
内科治療→補助循環→移植へ
適切なブリッジと出口戦略を
日本全体の問題として考える
14:00-15:30

パネルディスカッション４（I-PD04）
近年の画像診断技術の外科手術
への応用（房室弁形成）
15:40-17:10

一般口演5
（I-OR05）
複雑心奇形Ⅰ
14:00-14:50

一般口演６
（I-OR06）
画像診断Ⅰ
15:10-16:00

一般口演７
（I-OR07）
画像診断Ⅱ
16:20-17:10

手術手技講習会場（ルーム105）
第13回小児用補助人工心臓研修セミナー
（I-EPS03）
第2部【手術手技講習グループ】
（株）カルディオ/
ジョンソン・エンド・ジョンソン（株）
17:30-19:00

一般口演１０
（I-OR10）
電気生理学・
不整脈Ⅰ
14:00-14:50

一般口演１１
（I-OR11）
電気生理学・
不整脈Ⅱ
15:10-16:00

一般口演１２
（I-OR12）
集中治療・
周術期管理Ⅰ
16:20-17:10

第13回小児用
補助人工心臓研修セミナー
（I-EPS02）
第2部【講習 患者ケア講習グループ】
（株）カルディオ/
ジョンソン・エンド・ジョンソン（株）
17:30-19:00

ポスター発表１
（I-P1-1～I-P1-7）
14:00-15:00

ポスター発表２
（I-P2-1～I-P2-7）
15:10-16:10

ポスター発表３
（I-P3-1～I-P3-7）
16:20-17:20

ポスター撤去
18:00-19:00

2日目：7月22日（金）

9:00　10:00　11:00　12:00　13:00　14:00

第1会場 <オンライン登壇あり>	1F	特別会議場	招請講演1 (II-IL01) 8:30-9:20 JSPCCS-AHA Joint Session (II-AHAJS) 9:25-10:55 レジェンドレクチャー (II-LL) 11:00-11:50 ランチョンセミナー5 (II-LS05) 共催:日本ゴア合同会社 12:00-12:50 総会・表彰式 (II-GA) 13:00-14:00
第2会場	1F	大ホールA	シンポジウム9（II-SY09）HLHSに対する外科的治療戦略 遠隔成績を見据えたNorwood手術のあり方 8:30-10:00 シンポジウム10（II-SY10）ACHD・心不全の緩和医療 10:10-11:40 ランチョンセミナー6 (II-LS06) 共催:アストラゼネカ(株) 12:00-12:50
第3会場	1F	大ホールC	シンポジウム12（II-SY12）画像診断・シミュレーション医学によるテクノロジーとその実用：～病態生理の解明から治療戦略のアセスメントに至るまで～ 8:30-10:00 スポンサードシンポジウム（II-SSY02）右室流出路再建術患者のライフタイムマネジメントを考える－TPVIにより拡がる治療選択肢をどう活かすか？ － 共催:日本メドトロニック(株) 10:10-11:40 ランチョンセミナー7 (II-LS07) 共催:富士フイルムヘルスケア(株) 12:00-12:50
第4会場	1F	中ホール	シンポジウム15（II-SY15）テイラーメイド医療から創薬まで～生物工学の発展と小児循環器領域への応用～ 8:30-10:00 シンポジウム16（II-SY16）集約化に向けて、どのようにして小児循環器集中治療医を育成・確保するのか 10:10-11:40 ランチョンセミナー8 (II-LS08) 共催:バイエル薬品(株) 12:00-12:50
第5会場	1F	中ホール	シンポジウム18（II-SY18）COVID-19 pandemicを踏まえ、改めて川崎病の原因を考察する 8:30-10:00 多領域パネルディスカッション (II-TRP) 先天性心疾患の児童・青年を多職種でいかに支えるのか 10:10-11:40 ランチョンセミナー9 (II-LS09) 共催:日本新薬(株) 12:00-12:50
第6会場	2F	小ホール	一般口演16 (II-OR16) 心筋心内膜疾患Ⅰ 8:30-9:20 一般口演17 (II-OR17) 心筋心膜疾患Ⅱ 9:30-10:20 一般口演18 (II-OR18) 10:30-11:20 心不全・心移植 II
第7会場	2F	204	一般口演21 (II-OR21) 8:30-9:20 術後遠隔期・合併症・発達Ⅰ 一般口演22 (II-OR22) 9:30-10:20 術後遠隔期・合併症・発達Ⅱ 一般口演23 (II-OR23) 10:30-11:20 術後遠隔期・合併症・発達Ⅲ
ポスター会場	1F	大ホールB	ポスター貼付 8:30-10:00 ポスター閲覧 10:00-15:30

15:00 16:00 17:00 18:00 19:00 20:00 21:00

特別講演（II-SL02）
<中継>
14:10-15:30

会長賞候補講演
（II-PAL）
15:40-16:30

シンポジウム８
（II-SY08）
専門医委員会セッション
小児循環器専門医
制度がめざすもの
16:40-17:40

JSPCCS-JCC
Joint Session
（II-JCCJS）
17:50-18:50

シンポジウム11（II-SY11）
心筋症における心電図の
意義を見直す
15:40-17:10

標本展示講演
（II-TISL）
三尖弁閉鎖症の形態学
17:20-18:20

安藤正彦記念標本展示・形態登録小委員会（ルーム202）
7月21日（木）13:00～17:00頃
7月22日（金）9:00～16:30頃

シンポジウム13（II-SY13）
次世代育成セッション
継続可能な医療提供と次世代
育成を目的とした学会の役割
15:40-17:10

シンポジウム14（II-SY14）
研究委員会
日本小児循環器学会支援
研究課題年次報告
17:15-18:45

シンポジウム17（II-SY17）
フォンタン術後患者の予後改善のため
の個別化治療へ向けて：時間軸を
考えた検討①長期予後を見据えた
フォンタン術前の単心室循環至適管理
15:40-17:10

会長要望セッション５（II-YB05）
シンポジウム
（聴講者参加型セッション）
この症例、私ならこうします！
17:15-18:45

一般口演１３
（II-OR13）
心不全・心移植Ⅰ
15:40-16:30

一般口演14
（II-OR14）
多領域Ⅰ
16:40-17:30

一般口演15
（II-OR15）
集中治療・
周術期管理Ⅱ
17:50-18:40

特別講演（II-SL01）
14:10-15:30

一般口演19
（II-OR19）
複雑心奇形Ⅱ
16:40-17:30

一般口演20
（II-OR20）
自律神経・
神経体液因子・
心肺機能
17:50-18:40

一般口演24
（II-OR24）
15:40-16:30
成人先天性
心疾患Ⅰ

一般口演25
（II-OR25）
16:40-17:30
成人先天性
心疾患Ⅱ

ポスター発表４
（II-P4-1～II-P4-8）
15:30-16:30

ポスター発表５
II-P5-1～II-P5-8
16:40-17:40

ポスター撤去
18:00-19:00

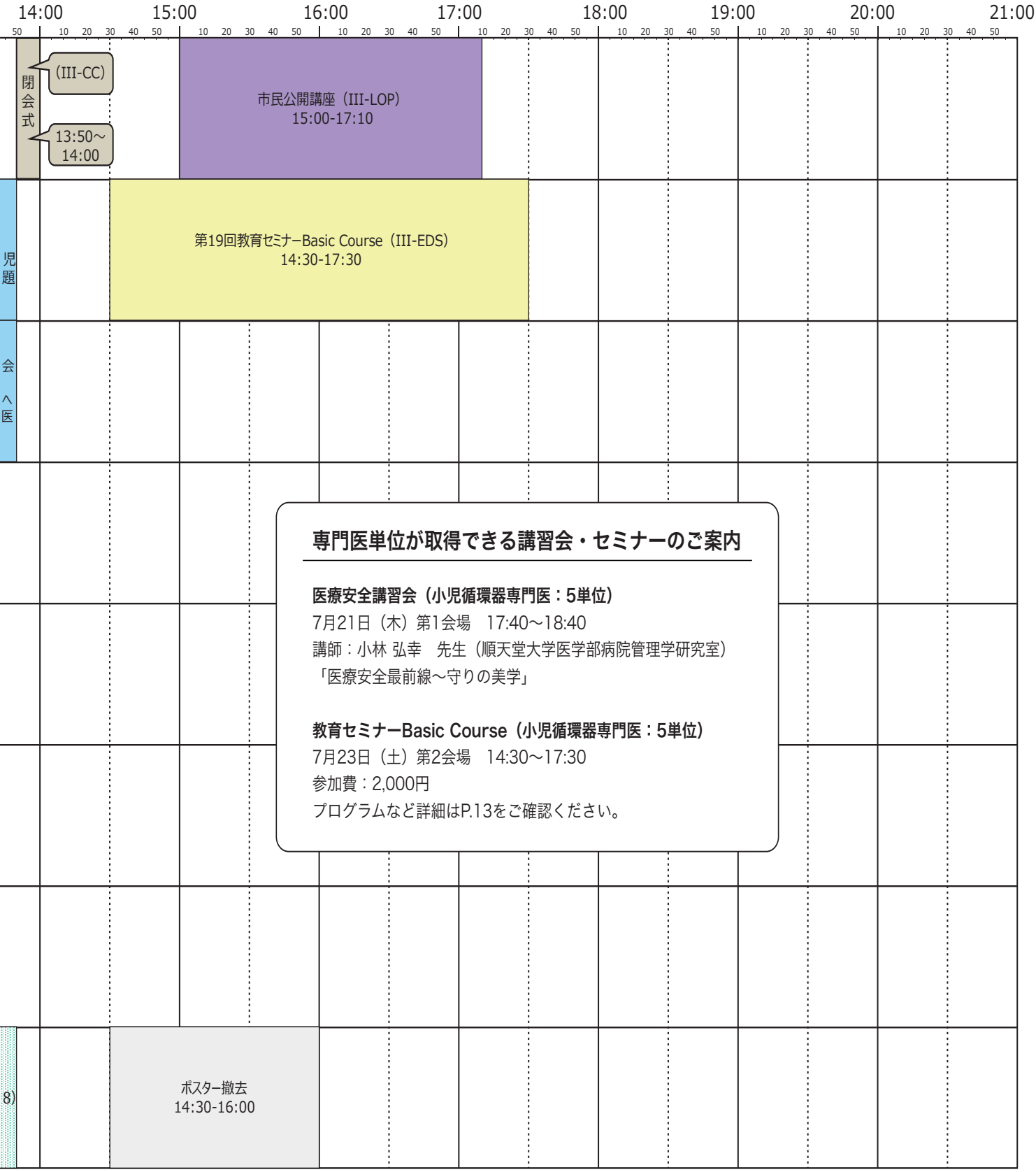
全員懇親会のご案内

学術集会参加者は全員参加できますので、奮ってご参加ください。
感染状況により変更もありますが、感染対策を徹底しながら開催いたします。

日　　時：2022年7月22日（金）19:30～21:30
会　　場：ロイトン札幌　3F「ロイトンホール」
参 加 費：2,000円（現金のみ）
参加受付：札幌コンベンションセンター
　　1階　総合案内
　　※3回のワクチン接種をお済みの方が対象です。
表 彰 式：会長賞の表彰式を開催します。
ドリンク・お食事の準備：
前半：挨拶、北海道のバーチャルツアーを楽しみながらのお食事（着席）
　　お弁当とお飲み物をご準備しております。
後半：懇親エリアにてマスク着用でお楽しみください。
　　アルコール、ソフトドリンクをご準備しております。

3日目：7月23日（土）

			9:00	10:00	11:00	12:00	13:00
第1会場 <オンライン登壇あり>	1F	特別会議場	招請講演2 （III-IL02） 8:30-9:20	会長要望セッション6（III-YB06） パネルディスカッション（アドバンス・ケア） 患者目線の医療とは -こころを紡いで、いのちを繋ぐ- 9:25-10:55	JSPCCS-TSPC Joint Session （III-TSPCJS） 11:00-11:40	ランチョンセミナー10 （III-LS10） 共催:ヤンセンファーマ(株) 11:50-12:40	AEPC-YIA session （III-AEPCYIA） 12:50-13:40
第2会場	1F	大ホールA	会長要望セッション7（III-YB07） シンポジウム（小児循環器集中治療） 難治性乳び胸に対して どうアプローチしていくか 8:30-10:00	会長要望セッション8（III-YB08） Case Challengeシンポジウム （若手参加型セッション） 10:10-11:40		ランチョンセミナー11 （III-LS11） 共催：エドワーズ ライフサイエンス(株) 11:50-12:40	シンポジウム19 （III-SY19） 保険診療委員会 保険診療の仕組みと小 循環器領域における課 12:50-13:50
第3会場	1F	大ホールC	会長要望セッション9（III-YB09） シンポジウム（臨床研究） 本邦における大規模臨床研究 （実現までの道のりとその重要性） 8:30-10:00	シンポジウム20（III-SY20） 新生児・乳児期の右室流出路狭窄 に対するカテーテル治療 10:10-11:40		ランチョンセミナー12 （III-LS12） 共催：マリンクロット ファーマ(株) 11:50-12:40	シンポジウム21 （III-LS12） 学会と教育の連携委員 心臓移植を題材とした 学校教育との連携・社会 の発信ー今小児循環器 ができること 12:50-13:50
第4会場	1F	中ホール	多領域シンポジウム1（III-TRS01） 先天性心疾患の子どもの生活の質を 高める身体活動や運動への 介入を考える 8:30-10:00	多領域シンポジウム2（III-TRS02） エキスパート医師・看護師・ 臨床工学技士があなたの 疑問に応える！ - 小児急性血液浄化療法 - 10:10-11:40		ランチョンセミナー13 （III-LS13） 共催：ノボ ノルディスク ファーマ(株) 11:50-12:40	一般口演26 （III-OR26） 肺循環・肺高血圧・ 呼吸器疾患 I 12:50-13:40
第5会場	1F	中ホール	一般口演27 （III-OR27） 外科治療遠隔成績 8:30-9:20	一般口演28 （III-OR28） 心血管発生・ 基礎研究 9:30-10:20	一般口演29 （III-OR29） 川崎病・冠動脈 ・血管 I 10:30-11:20	ランチョンセミナー14 （III-LS14） 共催：(株)カネカ メディックス 11:50-12:40	一般口演30 （III-OR30） 川崎病・冠動脈・ 血管 II 12:50-13:40
第6会場	2F	小ホール	一般口演31 （III-OR31） 川崎病・冠動脈・ 血管 III 8:30-9:20	一般口演32 （III-OR32） 外科治療 I 9:30-10:20	一般口演33 （III-OR33） 外科治療 II 10:30-11:20		一般口演34 （III-OR34） その他 12:50-13:40
第7会場	2F	204	一般口演35 （III-OR35） 肺循環・肺高血圧・ 呼吸器疾患 II 8:30-9:20	一般口演36 （III-OR36） 外科治療 III 9:30-10:20	一般口演37 （III-OR37） 外科治療 IV 10:30-11:20		一般口演38 （III-OR38） 多領域 II 12:50-13:40
ポスター会場	1F	大ホールB	ポスター貼付 8:30-9:30	ポスター閲覧 9:30-12:50			ポスター発表6 （III-P6-1～III-P6- 12:50-13:50



専門医単位が取得できる講習会・セミナーのご案内

医療安全講習会（小児循環器専門医：5単位）
7月21日（木）第1会場　17:40～18:40
講師：小林 弘幸　先生（順天堂大学医学部病院管理学研究室）
「医療安全最前線～守りの美学」

教育セミナーBasic Course（小児循環器専門医：5単位）
7月23日（土）第2会場　14:30～17:30
参加費：2,000円
プログラムなど詳細はP.13をご確認ください。

電子抄録集について

第58回日本小児循環器学会総会・学術集会の抄録集は電子化されています。電子抄録集の使用方法と閲覧方法をご案内いたします。

※印刷冊子の抄録集はご用意がございません。ご注意ください。
ご興味のある講演・発表について、電子抄録集より事前に印刷してご準備いただくか、またはモバイル用の抄録アプリをご利用ください。

第58回日本小児循環器学会総会・学術集会　電子抄録集

●URL

https://confit.atlas.jp/jspccs58

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

抄録の閲覧にはパスワードが必要です。

抄録閲覧パスワード：jspccs58

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

●トップページ

タイトル、発表者、講演番号、フリーワードを入力して、講演を検索いただけます。

こちらからアカウントをご登録いただくと、スケジュール管理など便利な機能をご利用いただけます。

各日程のタイムテーブルから会場別プログラムをご覧いただけます。セッションをクリックすると各セッション内容が表示されます。

シンポジウムや一般口演などのプログラム別、カテゴリー別、日程別など、用途に合わせてプログラムが検索できます。

※「セッション一覧」内にございます「発表形式別」が分かりやすくなっています。

▼主な講演検索方法

【タイムテーブルから検索】

各日程の会場別プログラムをご覧いただけます。

トップページ　→　タイムテーブル項目の閲覧したい日付　→　タイムテーブルのセッション名をクリックしてください。

【セッション情報から検索】

トップページ　→　プログラム項目にある「セッション一覧」　→　「プログラム別」と進んでください。

●セッション情報・講演情報

各講演のスケジュール登録ボタンをクリックすると、マイスケジュールに追加されます。

マイスケジュールした講演を管理できます。
抄録の一括 PDF 作成も可能です。

※電子抄録はセッション情報の下層に各演題がございます。
Ex）シンポジウム１（セッション情報）　→　講演情報

※過去の学術集会画像です。

モバイルアプリ

第58回日本小児循環器学会総会・学術集会のアプリは事前ダウンロードが可能です（7月中旬ダウンロード開始予定）。
WEB版の電子抄録と同様の機能がアプリでも使用できます。
学術集会前にスマートフォン、タブレットへアプリをダウンロードをし、ご活用ください。

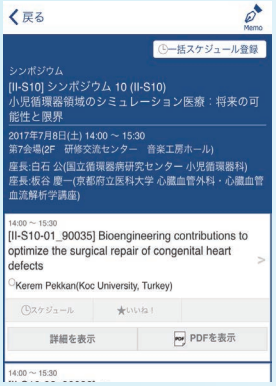
小児循環器学会　で検索

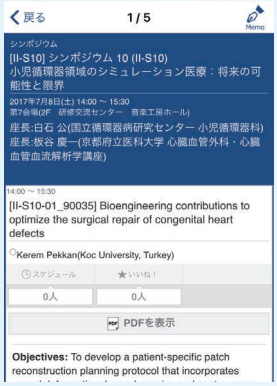
大会公式アプリ For Android　↓QRコードはこちら　ANDROID APP ON Google play

大会公式アプリ For iPhone　↓QRコードはこちら　Available on the App Store

●トップページ

●セッション情報・講演情報





※過去の学術集会画像です。

▼抄録について

WEB 上ですべて閲覧も可能です。
予稿集 PDF ダウンロード「抄録すべて」「会期日ごと」「セッションごと」「各講演」など、抄録 PDF の自動作成が可能です。
時計アイコンをクリックすると、ご自身のスケジュールが登録が可能です。
セッションや講演をスケジュール登録いたしますと、登録した講演の抄録 PDF がまとめて作成できます。

2022年学会賞受賞者一覧

2022年学会賞受賞者が決定いたしました!!　表彰式は 7/22(金)13時からの総会に引き続き開催されます。

Young Investigator's Award（YIA）

田邊　雄大

静岡県立こども病院循環器科/集中治療科

論文名：
Fontan導管への経皮的穿刺・開窓術の方法とその臨床効果
日小児循環器会誌 2021; **37**: 106–116

松田　健作

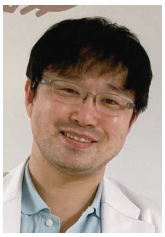
JCHO九州病院心臓血管外科

論文名：
Tracheal Growth after the Repair of Pulmonary Artery Sling
J Pediatr Cardiol Cardiac Surg 2021; **5**: 91–96

齋藤　純一

東京医科大学細胞生理学分野

論文名：
Transcriptome Analysis Reveals Differential Gene Expression between the Closing Ductus Arteriosus and the Patent Ductus Arteriosus in Humans
J Cardiovasc Dev Dis 2021: **8**: 45



辻岡　孝郎

北海道大学病院小児科

論文名：
Resveratrol-Encapsulated Mitochondria-Targeting Liposome Enhances Mitochondrial Respiratory Capacity in Myocardial Cells
Int J Mol Sci 2021; **23**: 112

Case Report Award（CRA）

古田　貴士

JCHO九州病院小児科

論文名：
Focal segmental glomerulosclerosis in patients after Fontan operation: is this a Fontan-associated renal disease?
Cardiol Young 2022; **32**; 837–839

丸尾　優爾

北海道大学病院小児科/北見赤十字病院 小児科

論文名：
A case report of Leigh syndrome diagnosed by endomyocardial biopsy
Eur Heart J Case Rep 2021; **5**: ytaa582

Miyata Foundation Award 日本小児循環器学会研究奨励賞

石田　秀和

大阪大学大学院医学系研究科　小児科学

研究課題名：
質量分析を用いた心筋組織内化合物解析による心臓移植後免疫抑制薬管理の向上を目指した研究

井上　忠

慶應義塾大学医学部小児科

研究課題名：
TMEM260変異の機能解析による先天性心疾患の発症機構の解明

功　労　賞

市田　蕗子

国際医療福祉大学臨床医学研究センター特任教授
山王病院小児科部長
元富山大学学長補佐・医学部客員教授

竹内　成之

慶應義塾大学医学部外科学教室

第19回教育セミナーBasic Course

小児循環器専門医単位：5単位

開催日：2022年7月23日(土)14:30～17:30　学術集会第二会場
参加費：2,000円
※学術集会HPからの事前登録の場合はクレジットカード決済、会場での当日申し込みの場合は現金決済となります
http://jspccs58.umin.jp/registration/index.html

プログラム

Ⅰ．不整脈

座長　竹内大二先生
東京女子医科大学循環器小児・成人先天性心疾患科

座長　藤井隆成先生
昭和大学病院小児循環器・成人先天性心疾患センター

1．（先天性）QT延長症候群
吉永正夫先生
鹿児島医療センター小児科

2．CHDのCRT
鈴木嗣敏先生
大阪市立総合医療センター小児不整脈科

3．新生児・乳児～小児の上室性頻脈性不整脈について
芳本潤先生
静岡県立こども病院不整脈内科

Ⅱ．外科系諸問題「新しい手術：new technique, new device」

座長　小沼武司先生
長野県立こども病院心臓血管外科

座長　藤井隆成先生
昭和大学病院小児循環器・成人先天性心疾患センター

1．小児期大動脈弁手術：選択肢としてのOzaki法
村山弘臣先生
あいち小児保健医療総合センター心臓血管外科

2．小児重症心不全に対する補助人工心臓治療―先天性心疾患も含めて
平田康隆先生
東京大学心臓外科

3．Norwood手術大動脈再建法と術式変遷
小沼武司先生
長野県立こども病院心臓血管外科

第14回教育セミナーAdvanced Course
「心血管機能の極意をつかみ、循環をとらえる！」

小児循環器専門医単位：5単位
日時：2023年2月4日(土)、5日(日)
場所：熱海温泉　KKR熱海ホテル

当番世話人：日本医療科学大学
こども未来づくり総合サポートセンターちょこ
先崎秀明

本質を理解しない心機能評価は、時に治療を誤った方向に向かわせます。本質を理解した心機能評価に基づく循環理解は無駄の少ない治療を実現します。本質を理解すると新たな発見も生まれます。

今回の教育セミナー　アドバンスコースでは、循環器専門家として胸を張れる質の高い循環把握のために、心血管機能の神髄を理解し、Professionalレヴェルで、何をどう評価して、どう考えるかを突き詰めて、明日からの臨床の深みを増してもらうよう企画いたしました。

今回は、3年ぶりに完全現地開催形式とし、関東屈指の温泉街、熱海の地で行います。セミナーは、小児循環器を代表する精鋭・超一流の講師陣がそろっての本格講義です。また、心機能評価に関するディベートセッション、心機能を理解してFontanの病態に迫る症例ベースでの討論等を、経験豊富な講師陣の激論とともに展開する予定です。

熱海の熱い夜を、セミナーと温泉とおいしい海の幸とともにご堪能していただければと思います。先着150名様です。ぜひご参加ください。参加申込方法・詳細は決定次第、学会HPにてお知らせいたします。

日本小児循環器学会雑誌　第38巻 第1号

● Review【分科会シリーズ〈日本小児循環動態研究会〉】

一般小児科医のための小児循環動態の考え方：小児の心疾患を診るこつ

10.9794/jspccs.38.3

上野 倫彦
手稲渓仁会病院小児科

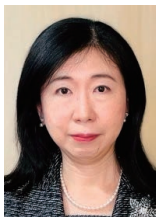
小児診療においては，一般小児科医であっても先天性心疾患（CHD）や小児の循環評価に携わらなければならない場面にしばしば遭遇する．循環の役割は肺で取り込まれた酸素を身体の各臓器に必要なだけ届けることであり，そのための心拍出量を保つことである．心内や大血管の間で短絡がある場合は，心室以降は肺体血管抵抗の違いによって，心房間では両心室のコンプライアンスの違いによって短絡方向・量が規定される．種々のCHD管理を考えるうえでは，肺血流が増多する疾患か減少する疾患かに分類するとシンプルでわかりやすい．一般小児科医が未診断のCHD患者に出会ったときには，最低限，酸素投与を行ってよいか，なるべくしないほうがよいか，動脈管開存が必要な疾患か否かを判断する必要がある．小児の循環動態を評価するためにはも

ちろん詳細な問診や身体診察が重要であり，また心臓超音波検査は簡便で有益な所見を得られるツールであるが，他のモダリティもあわせて総合的に判断することが求められる．

● Review【特集：第17回教育セミナー〈Ⅱ. 胎児および新生児特有の問題〉－

胎児期または出生直後に心疾患を診断された家族へのカウンセリング

10.9794/jspccs.38.15



河津 由紀子

福山市民病院小児科

近年，胎児心エコー検査の進歩と増加に伴い，本邦においても胎児期に多くの先天性心疾患が診断されるようになった．その一方で，出生直後に初めて診断される場合も依然，少なくない．今回，児の診断を受けた家族に対する「カウンセリング」について，それぞれの場合について説明する．1. 胎児診断の場合：家族の不安そして，診断が変わりうる不確定な要素にも注意が必要である．それらを理解したうえで行うカウンセリングの目的や実際，内容，家族支援について概説した．2. 出生直後の場合：胎児診断の場合と異なり，生後突然の診断かつ診断（児に心疾患があること）が確定している状況である．胎児診断と異なる部分について概説した．胎児期および出生後いずれの診断においても，小児循環器医は，心疾患の正確な診断ばかりでなく，家族に対して「カウンセリング」することも必要である．また，カウンセリングを自ら行い，チームを主導する立場にあるという自覚も重要である．

● 原　著

学校心臓病検診において胸部誘導位置の誤りを認めた心電図の検討

10.9794/jspccs.38.21

柴田 利満

しばた医院

背景：近年，学校心臓病検診で初発見される先天性心疾患の多くは心房中隔欠損症である．そのためV1誘導でのrsR′型の不完全右脚ブロック型には注意しているが，二次検診でその所見が消失することがある．また，V6誘導の深いQ波も二次精検で消失することがある．この原因を検索した．
方法：V1誘導でrsR′型の生徒14名とV6誘導で深いQ波の生徒3名の心電図と合成ベクトル心電図（VCG）をとり，さらに高位肋間でも記録した．
結果：rsR′型症例で，二次検診ではrsR′型が消失したが，1～2肋間上の記録では一次検診と同じ波形が再現された．深いQV6症例において，二次でその所見が消失したが，1肋間上の誘導で深いQV6が再現した．上位肋間では合成VCGのQRSループ後半が前方偏位した．深いQV6波例では，ループ初期部分が増幅し，最大QRSベクトルの増大も認められた．
結論：高位肋間で出現したrsR′型は，合成VCG解析の結果，単極誘導から遠い部分の電位が減衰しループが前方偏位したと考えられた．深いQV6例は，誘導が1肋間上がるとQRSループに電極が接近し高電位が記録されたと考えた．

● 原　著

人工心肺を用いた小児心臓周術期における遊離カルニチン濃度の検討

10.9794/jspccs.38.29

田部 有香[1)]　山田 健治[1)]　中嶋 滋記[1)]　安田 謙二[1)]
城 麻衣子[2)]　藤本 欣史[2)]　小林 弘典[1)]　竹谷 健[1)]

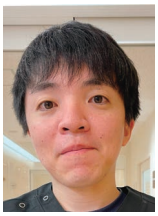
1) 島根大学医学部小児科
2) 島根大学医学部心臓血管外科

目的：カルニチンはミトコンドリアにおけるエネルギー産生に必須の物質で，その欠乏により心筋症や低血糖などを生じる．本研究では，小児先天性心疾患患者の人工心肺（CPB）前後における血中遊離カルニチン（C0）値の動態を明らかにすることを目的とした．
方法：小児先天性心疾患児のCPB使用直前，直後，以後連日7日後までのC0値を測定した．
結果：対象は50例で，平均月齢は35±49か月であった．19例に心外合併症（染色体異常，早産児，消化器疾患等）を認めた．C0値は術前55.8±24.4 nmol/mLで，CPB直後に33.5±12.9 nmol/mL（$p<0.01$）と低下した．術翌日には96.3±42.1 nmol/mL（$p<0.01$）と上昇し，術後3日目には手術前と同程度に戻った．心外合併症の有無は周術期におけるC0低下と関連した（OR 3.385; 95％信頼区間1.858–3.385, $p<0.01$）．
結語：C0値はCPB使用により術直後は一過性に低下するが術後3日目には戻った．臨床的にカルニチン補充を要する症例は認めなかったが，心外合併症例では周術期のカルニチンを測定することが必要かもしれない．

● 症例報告

発熱前に弁破壊による急性僧帽弁閉鎖不全で発症した感染性心内膜炎の乳児例

10.9794/jspccs.38.38



波若 秀幸[1)]　真田 和哉[1)]　森田 理沙[1)]　浦山 耕太郎[1)]
杉野 充伸[1)]　山田 和紀[2)]　白石 公[3)]
池田 善彦[4)]　田原 昌博[1)]

1) あかね会土谷総合病院小児科
2) あかね会土谷総合病院心臓血管外科
3) 国立循環器病研究センター病院小児循環器内科
4) 国立循環器病研究センター病院病理部

症例は生来健康の7か月女児．急性僧帽弁閉鎖不全による左心不全症状で第1病日に当院に搬送となり，第2病日に準緊急手術を

行った．入院時から抗菌薬投与を開始し，入院8時間後から発熱を認めた．術中所見では僧帽弁両尖の破壊と後尖の穿孔を認め，僧帽弁の明らかな腱索断裂や疣腫は認めなかった．僧帽弁形成術が困難であったため，僧帽弁人工弁置換術を行った．血液，切除僧帽弁前尖の培養検査では細菌，真菌は陰性であったが，切除僧帽弁の病理組織像では好中球浸潤を認め，感染性心内膜炎と診断した．しかしその原因や起因菌の確定には至らなかった．乳児の急性僧帽弁閉鎖不全では，原因として感染性心内膜炎や特発性僧帽弁腱索断裂が挙げられる．本症例は発熱前に著明な弁破壊を来した感染性心内膜炎で，乳児特発性僧帽弁腱索断裂に類似して急激な臨床経過を辿った．生来健康な乳児の急性僧帽弁閉鎖不全についての治療や合併症はその原因によって異なるため，病理学的検討も含めて，注意して原因を確認しなければならない．

● 症例報告

異なる生命予後を示したscimitar症候群の同胞例とリスク因子の検討

10.9794/jspccs.38.48

田尾 克生[1,2]　矢崎 諭[2]　嘉川 忠博[2]　安藤 誠[3]
与田 仁志[4]

1) 福岡市立こども病院小児循環器科
2) 榊原記念病院小児循環器科
3) 金沢医科大学病院心臓血管外科
4) 東邦大学医療センター大森病院新生児科

Scimitar症候群とは，先天性心疾患，肺形成異常，主に右肺からの下大静脈への肺静脈還流異常が見られる稀な症候群である．その重症度の幅は大きく，表現型に多様性を認める．今回，異なる生命予後を示したscimitar症候群の同胞例を経験したので，ほかのscimitar症候群を合わせた全8症例の予後因子について検討した．成人例は無症状に対し，右肺低形成，肺動脈径の左右差，先天性心疾患の合併は小児例に有意に認め生後1か月以内に全例，発症した．小児例の6例中4例に手術を施行し，1例は手術適応外だった．3例が死亡し，そのうち2例に複雑心疾患を合併し，死亡した3例すべてに気道病変を認めた．肺高血圧を確認したのは2例で，すべて小児例で気道病変合併例のみ死亡した．また死亡例に側副血管の灌流領域の多い傾向も認めた．予後因子について発症時期，複雑心疾患，肺高血圧，側副血管の灌流領域によるうっ血性心不全に加え気道病変の有無が考えられた．

● 症例報告

極低出生体重児の大動脈縮窄症に対して経皮的大動脈バルーン拡張術後に外科治療を行った1例

10.9794/jspccs.38.54

清水 大輔[1,2]　宗内 淳[2]　土井 大人[2]
杉谷 雄一郎[2]　古田 貴士[2]　江崎 大起[2]
小林 優[2]　城尾 邦彦[3]　立石 悠基[4]
宮本 智成[1]　渡邉 まみ江[2]　落合 由恵[3]　楠原 浩一[1]

1) 産業医科大学小児科
2) 独立行政法人地域医療機能推進機構九州病院小児科
3) 独立行政法人地域医療機能推進機構九州病院心臓血管外科
4) 地域医療機能推進機構九州病院病理科

大動脈縮窄症（COA）における乳児期の治療として外科治療もしくは経皮的バルーン拡張術（BA）が用いられる．特に低出生体重児の場合は，BAと外科治療のどちらであっても再狭窄率や合併症発症率が高いことが報告されている．症例は35週1,374gで出生した女児，日齢6に収縮期血圧上下肢差64mmHgを認めCOAと診断した．日齢25に最狭窄部1.3mmのCOAに対し3Frenchシースを使用して経動脈的にBAを実施した．冠動脈形成用バルーン（NC TREK®2mm）で前拡張後に弁拡張用バルーン（TMP-PED®4mm）で後拡張した．収縮期血圧較差9mmHgまで改善した．BA後に体重増加が得られたが再狭窄が進行し，日齢108（体重3,050g）に左側開胸で大動脈縮窄部切除と大動脈形成術を実施した．現在，生後7か月で再狭窄を認めていない．低出生体重児のCOAに対し，姑息的BA後に体重増加させ，外科治療を行うことは，合併症や予期せぬ再狭窄を予防できる点から有効であると考えられた．

● 症例報告

リードレスペースメーカ植込み術を施行した小児の1例

10.9794/jspccs.38.63

小島 敏弥[2]　大森 紹玄[1]　小川 陽介[1]
田中 優[1]　白神 一博[1]　益田 瞳[1]
浦田 晋[1]　松井 彦郎[1]　柴田 深雪[3]
平田 康隆[3]　小野 稔[3]　加藤 元博[1]
佐藤 要[1]　犬塚 亮[1]

1) 東京大学医学部附属病院小児科
2) 東京大学医学部附属病院循環器内科
3) 東京大学医学部附属病院心臓外科

リードレスペースメーカ（LPM）の小児への植込みは稀であり，本邦では未だ報告がない．われわれは複数の条件を勘案し，LPM植込み術を施行した小児例を経験した．症例は拡張型心筋症に対する心臓移植後の12歳女児で，拒絶反応により循環不全を伴う一過性の洞不全症候群を発症し，ペースメーカ（PM）治療の適応と判断した．両側鎖骨下静脈の閉塞，成長過程であること，手技の侵襲性，免疫抑制剤投与下におけるデバイス感染のリスク等のため経静脈的PMや心外膜PMを選択しにくい状況であった．一方で，心臓再移植の可能性と一過性徐脈であることから，LPMの懸念点である電池消耗に伴う追加留置の必要性と，モードがVVIに限られる点は許容されると判断した．体格が小さいことによる血管アクセスの問題も，大腿静脈シースを段階的にサイズアップすることでLPMイントロデューサシースを留置することで解決しえた．心臓が小さいため三尖弁から右室中隔留置部位までの距離が取れず，また高い刺激閾値が問題となったが，右室中位中隔に許容範囲内である部位を確認し，留置しえた．植込み術中・術後に有害事象はなく，心拍数低下時にLPMは正常に作動した．その後，経カテーテル的心筋生検に際し，問題はなかった．適応が限定的であることに留意し，適切な症例を選択すれば，小児例へのLPM植込みは安全かつ有用な治療選択肢になりうる．

学会予定・分科会予定

学会予定

第58回日本小児循環器学会総会・学術集会
会期：2022年7月21日(木)～23日(土)
会場：札幌コンベンションセンター（北海道）
会長：土井　庄三郎　災害医療センター

第13期小児循環器専門医試験
筆記試験：2022年11月6日(日)
会場：東京（順天堂大学）、名古屋、大阪、福岡　予定
口頭試験：2022年11月13日(日)
形式：zoomによるweb面接

第59回日本小児循環器学会総会・学術集会
会期：2023年7月6日(木)～8日(土)
会場：パシフィコ横浜ノース（神奈川）
会長：鈴木　孝明　埼玉医科大学国際医療センター

第60回日本小児循環器学会総会・学術集会
会期：2024年7月11日(木)～13日(土)
会場：福岡国際会議場（福岡）
会長：須田　憲治　久留米大学小児科

分科会予定

第28回日本小児肺循環研究会・第7回日本肺高血圧肺循環学会学術集会（合同開催）
会期：2022年7月2日(土)～3日(日)
会場：京王プラザホテル（東京）
会長：深澤　隆治　日本医科大学

第25回日本小児心血管分子医学研究会
会期：2022年7月21日(木)
会場：札幌コンベンションセンター（北海道）
会長：石田　秀和　大阪大学小児科

第3回CHSS Japan手術手技研究会
会期：2022年7月21日(木)
会場：札幌コンベンションセンター（北海道）
会長：川崎　志保理　順天堂大学医学部心臓血管外科

第7回日本小児循環器集中治療研究会学術集会
会期：2022年9月17日(土)
会場：大阪母子医療センター（大阪）＆ハイブリッド
会長：竹内　宗之　大阪母子医療センター

第41回日本小児循環動態研究会・第31回日本小児心筋疾患学会学術集会（合同開催）
会期：2022年10月15日(土)～16日(日)
会場：もくせい会館（静岡）
会長：新居　正基　静岡県立こども病院
小野　博　国立成育医療研究センター

第26回日本小児心電学会学術集会
会期：2022年11月11日(金)～12日(土)
会場：大阪市中央公会堂(大阪)
会長：鈴木　嗣敏　大阪市立総合医療センター小児不整脈科

第21回日本心臓血管発生研究会
会期：2022年12月18日(日)
会場：東京医科大学病院講堂（東京）
会長：横山　詩子　東京医科大学細胞生理学分野

第24回日本成人先天性心疾患学会総会・学術集会
会期：2023年1月13日(金)～15日(日)
会場：愛媛県県民文化会館（愛媛）
会長：檜垣　高史　愛媛大学

第33回日本先天性心疾患インターベンション学会学術集会
会期：2023年1月19日(木)～21日(土)
会場：一橋記念講堂（東京）・ライブ配信
会長：杉山　央　聖隷浜松病院小児循環器科・成人先天性心疾患科

●第6回日本小児心臓MR研究会学術集会
会期：2023年2月18日(土)
会場：東京大学医学部1号館3階講堂（東京）・ハイブリッド開催予定
会長：岩本　洋一　埼玉医科大学総合医療センター 小児科

第29回日本胎児心臓病学会学術集会
会期：2023年2月24日(金)～25日(土)
会場：オービックホール（大阪）
会長：吉松　淳　国立循環器病研究センター産科
亀井　良政　埼玉医科大学病院産婦人科

第4回CHSS Japan 手術手技研究会
会期：2023年7月6日(木)～8日(日)
学術集会会期中
会場：パシフィコ横浜ノース（神奈川）

第42回日本小児循環動態研究会・第32回日本小児心筋疾患学会学術集会（合同開催）
会期：2023年10月28日(土)～29日(日)
会場：北海道大学構内（北海道）
会長：武田　充人　北海道大学医学部小児科
増谷　聡　埼玉医科大学総合医療センター小児循環器部

関連学会予定

第42回日本川崎病学会総会・学術集会
会期：2022年9月30日(金)～10月1日(土)
会場：大宮ソニックシティ　(埼玉)
会長：松原　知代　獨協医科大学埼玉医療センター

第75回日本胸部外科学会定期学術集会
会期：2022年10月5日(水)～8日(土)
会場：パシフィコ横浜
会長：中島　淳　東京大学医学部附属病院呼吸器外科

第87回日本循環器学会学術集会
会期：2023年3月10日(金)～12日(日)
会場：福岡国際会議場、福岡サンパレス、マリンメッセ福岡、福岡国際センター
会長：筒井　裕之　九州大学大学院医学研究院循環器内科学

第53回日本心臓血管外科学会学術総会
会期：2023年3月23日(木)～25日(土)
会場：旭川市民文化会館　他
会長：東　信良　旭川医科大学外科学講座血管外科学分野

第126回日本小児科学会学術集会
会期：2023年4月14日(金)～16日(日)
会場：グランドプリンスホテル新高輪国際館パミール　他
会頭：清水　俊明　順天堂大学医学部小児科

第43回日本川崎病学会学術集会
会期：2023年9月30日(土)～10月1日(日)
会場：国立循環器病研究センター（大阪）
会長：津田　悦子　国立循環器病研究センター

編集後記

1年に一回の、紙媒体による学会特集号のニュースレターが完成しました。他のニュースレターがPDF化した今でも、紙媒体の学会特集号は手に取って広げて見る喜びを残してあります。実態のある紙媒体と、実態のない電子媒体の関係は、現地開催の学会とオンライン開催の学会の関係に似ています。オンライン学会は実態のない電子媒体を経由して参加します。それとは対照的に、現地参加の学会は、事前に飛行機のチケットを購入し、ホテルを予約し、時間をかけて遠方の地まで移動するなどの、様々な実態のある行動が必要です。そして土井庄三郎学術集会会長が当ニュースレターで書かれているように、学会員同士が、実態としての身体を突き合わせての久方ぶりの懇親は、オンライン開催では得られない、学会員の明日からの活力になることでしょう。是非、当学会特集号のニュースレターで、学会への期待を膨らませて頂きたいと思います。

高橋　健　順天堂大学浦安病院小児科

JSPCCS News Letter
発　行：特定非営利活動法人　日本小児循環器学会
事務局：日本小児循環器学会事務局
〒162-0801　東京都新宿区山吹町 358-5
アカデミー センター　株式会社国際文献社内
TEL：03-6824-9380　FAX：03-5227-8631
E-mail：
jspccs-post@bunken.co.jp（学会に関するお問い合わせ）
jspccs_sp@bunken.co.jp（専門医に関するお問い合わせ）